

書道パフォーマンス 甲子園

第12回



優勝した長野県松本蟻ヶ崎高等学校

華麗な書と演技で観客を魅了

今回で12回目となる書道パフォーマンス甲子園が、8月4日（日）に伊予三島運動公園体育館で開催され、全国7ブロックの予選を勝ち抜いた20校の選手たちが、4×6畳の巨大な用紙に向かい、音に、動きに、筆に想いを込めて揮毫しました。

当日は、過去最高となる延べ6500人も観客が応援する中で、5年連続6回目の出場となる長野県松本蟻ヶ崎高等学校が、「SNSが普及する今、自分の思いを言葉にして、紙にしたためて伝えることの大切さ」を書と演技で表現し、初優勝を飾りました。

今大会は全国から106校の応募があり、3連覇を懸けて臨んだ福岡県立八幡中央高等学校は準優勝でした。

なお、今大会では約100人の高校生ボランティアが参加し、初めて司会を行ったほか、演技審判や墨拭きなどさまざまな役割を務めました。

優勝	長野県松本蟻ヶ崎高等学校
準優勝	福岡県立八幡中央高等学校
第3位	香川県立高松商業高等学校
審査員特別賞	本庄東高等学校
紫舟賞	福岡県立大牟田北高等学校
南海放送賞	上宮高等学校

